

TOTO

ケアクリック

T95W型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

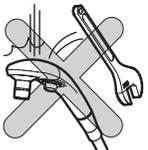
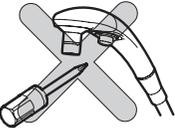
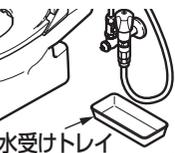
1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

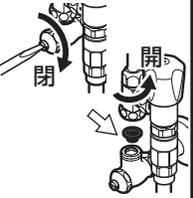
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 注 意		
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	吐水口の真下に水受けトレイを設置する 水受けトレイの位置がずれると、床面をめらすおそれがあります。	 水受けトレイ

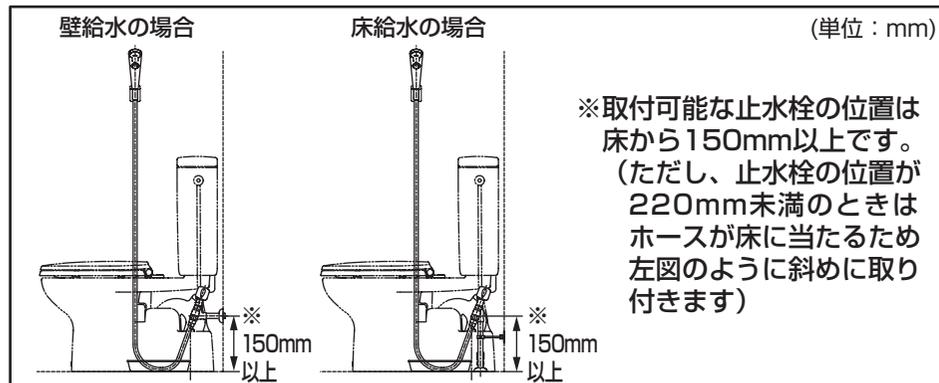
 注 意		
 必ず実行	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓を閉めてから行う 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	必ず調圧弁を取り付ける 調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

給水圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
通水温度	35℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1~40℃	
用途	パブリックおよび一般住宅トイレ用	

3 取り付け前に

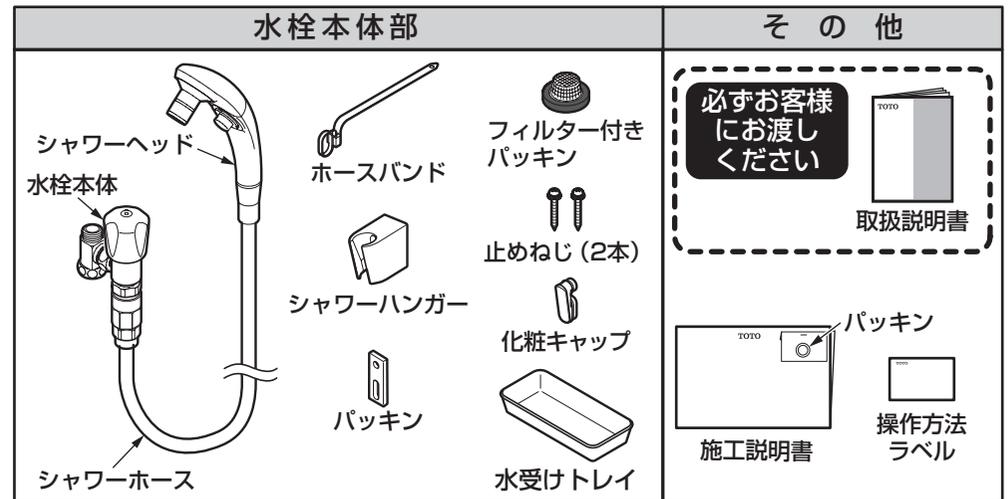
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。



- 止水栓の取付位置はホースが床に当たらない220mm以上をお勧めします。
- 床給水の場合は、パイプホルダーなどで給水管を確実に固定してください。

4 部品の確認

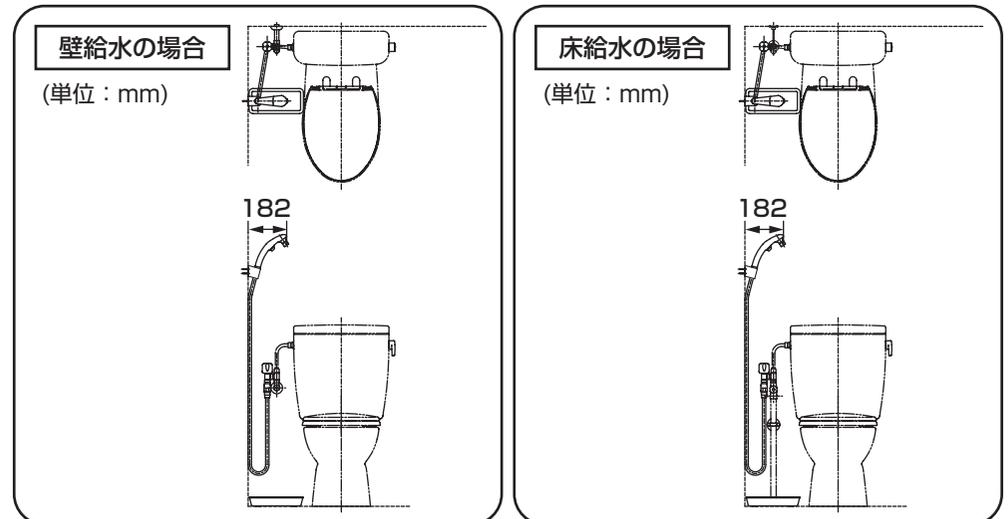
次の部品があることを確認してください。



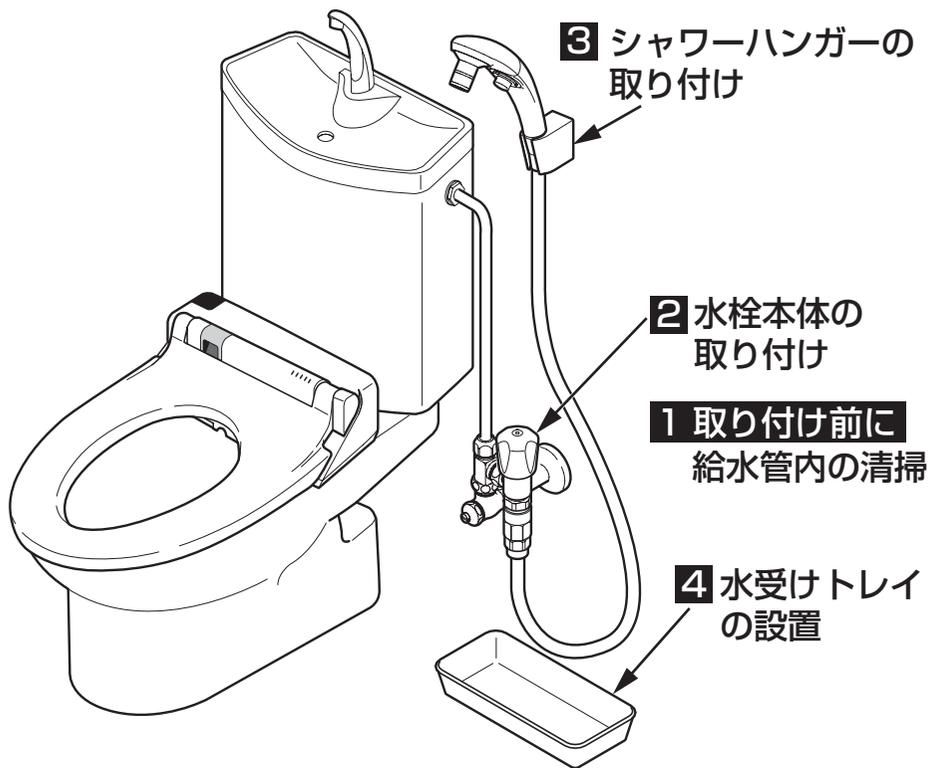
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順



1 取り付け前に 給水管内の清掃

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注意

給水管内の清掃を行わない場合、給水管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

●吐水量が少ない
給水管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水管内のごみ、砂などを洗い流してください。



重要

2-1 水栓本体の取り付け

ロータンク付き便器の場合

- ① 止水栓を閉める。
- ② 給水管を取り外す。
- ③ 水栓本体にフィルター付きパッキンを入れ、止水栓に取り付ける。
- ④ 給水管を約10mmの差し込み代を取れる寸法に切り、水栓本体にパッキンを入れ、給水管に取り付ける。

注意

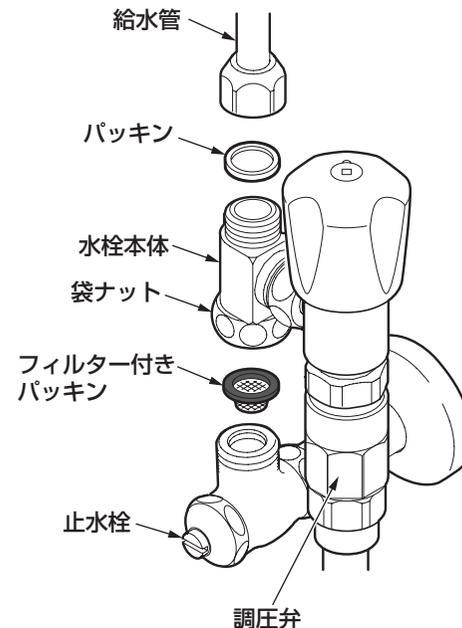
●必ずフィルター付きパッキンの向きに注意して、止水栓に取り付けてください。

●必ずフィルター付きパッキン・パッキンを入れてください。水漏れのおそれがあります。

●セットしている調圧弁は取り外さないでください。

調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

調圧弁を外した場合は、工具で確実に締め付けてください。

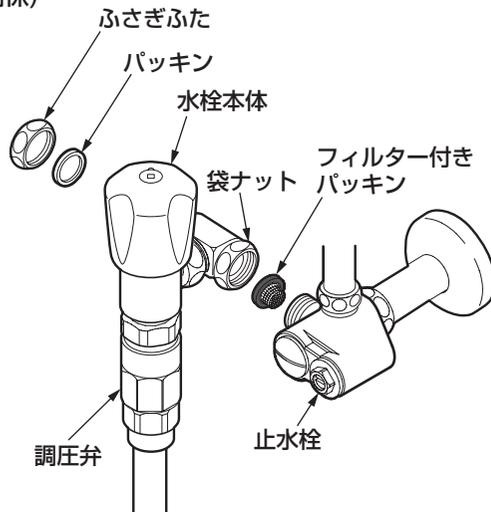


2-2 水栓本体の取り付け(つづき)

ワンピース便器の場合

(CS406、406B、406P、406PB関係)

- ①止水栓を閉める。
- ②ふさぎふたとパッキンを取り外す。
- ③水栓本体にフィルター付きパッキンを入れ、止水栓に取り付ける。
- ④ふさぎふたとパッキンを取り付ける。



注意

- 必ずフィルター付きパッキンの向きに注意して、止水栓に取り付けてください。
- 必ずフィルター付きパッキン・パッキンを入れてください。水漏れのおそれがあります。
- セットしている調圧弁は取り外さないでください。
調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
調圧弁を外した場合は、工具で確実に締め付けてください。

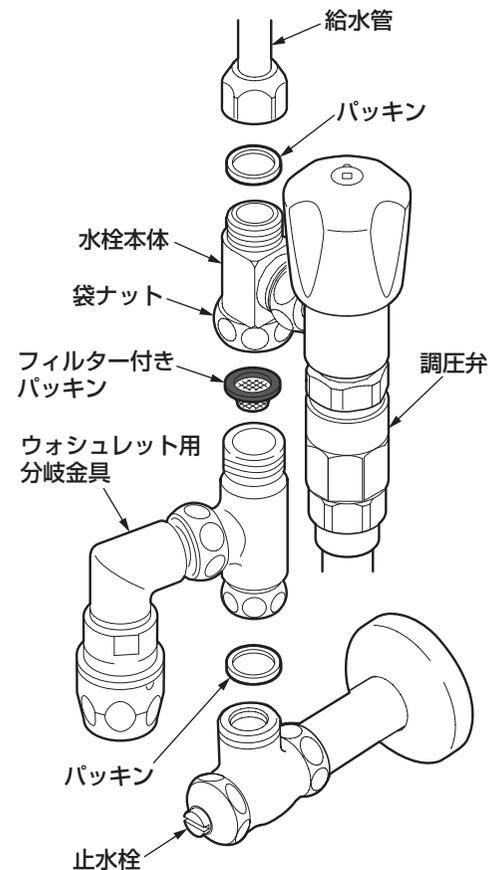
ウォシュレット付き便器の場合

(A)ロータンク付き便器の場合

- ①止水栓を閉める。
- ②給水管を取り外す。
- ③ウォシュレット用分岐金具の上にフィルター付きパッキンを入れ、水栓本体を取り付ける。
- ④給水管を約10mmの差し込み代を取れる寸法に切り、水栓本体にパッキンを入れ、給水管に取り付ける。

注意

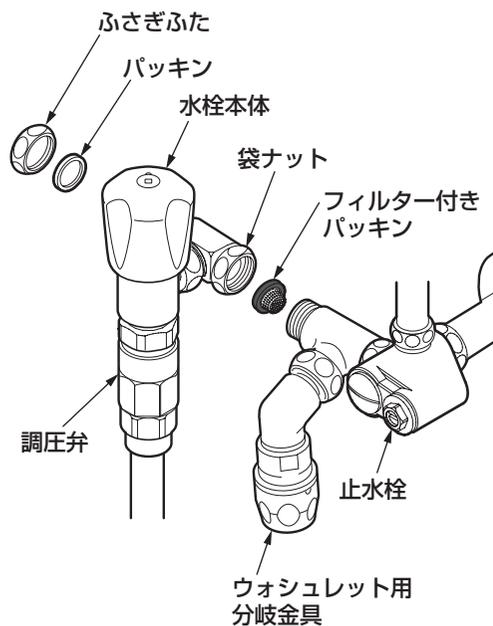
- 必ずフィルター付きパッキンの向きに注意して、止水栓に取り付けてください。
- 必ずフィルター付きパッキン・パッキンを入れてください。水漏れのおそれがあります。
- セットしている調圧弁は取り外さないでください。
調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
調圧弁を外した場合は、工具で確実に締め付けてください。



2-3 水栓本体の取り付け(つづき)

(B)ワンピース便器の場合
(CS406、406B、406P、406PB関係)

- ①止水栓を閉める。
- ②ふさぎふたとパッキンを取り外す。
- ③ウォシュレット用分岐金具の上にフィルター付きパッキンを入れ、水栓本体を取り付ける。
- ④ふさぎふたとパッキンを取り付ける。

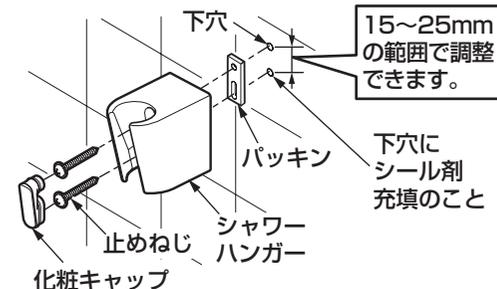


注意

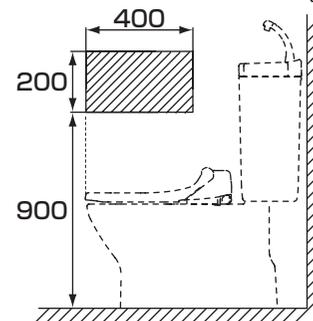
- 必ずフィルター付きパッキンの向きに注意して、止水栓に取り付けてください。
- 必ずフィルター付きパッキン・パッキンを入れてください。水漏れのおそれがあります。
- セットしている調圧弁は取り外さないでください。
調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
調圧弁を外した場合は、工具で確実に締め付けてください。

3 シャワーハンガーの取り付け

- ①下穴を開ける。
※取付位置は(図1)を参照
- ②パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④化粧キャップをシャワーハンガーに確実に押し込む。



(単位: mm)



(図1)

注意

- 取付面が薄壁の場合は、事前に30mm以上の補強木を入れておいてください。取り付けが不安定になり、落下してけがをするおそれがあります。
- 取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、市販のコンクリート用プラグを使用してください。取り付けが不安定になり、落下してけがをするおそれがあります。

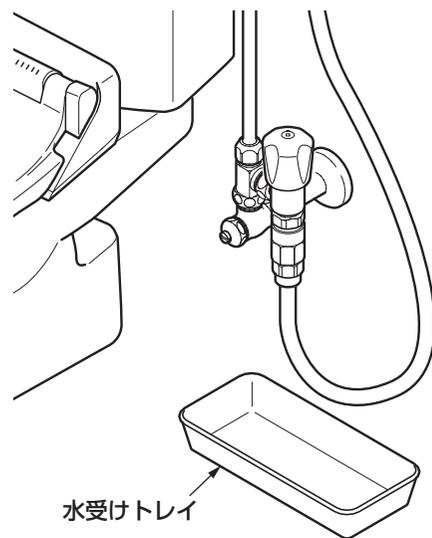


(図2)

手洗い付きタンクの場合、(図2)のように手洗い近くにシャワーハンガーを取り付けることもできます。

4 水受けトレイの設置

水受けトレイは吐水口からの水滴を受けるためのものです。右図のように吐水口の真下に置いてください。



7

点検項目

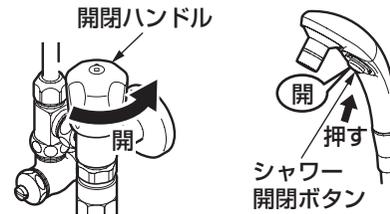
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

④ 吐水口



水出し確認

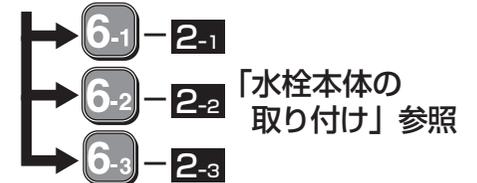
止水栓を開き、吐水口から水が出るか確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

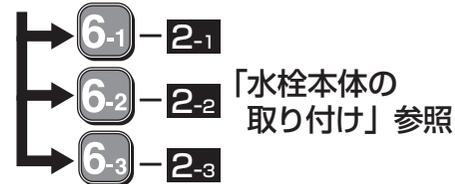
③ 水栓本体の袋ナットは止水栓にしっかり接続されていますか？



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 水栓本体の接続部のゆるみはないですか？



② シャワーハンガーはしっかり固定されていますか？



流量の確認

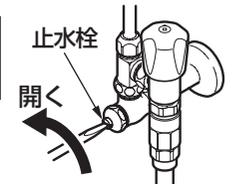
流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

④ 吐水口のごみ詰まりはないですか？



➡ 吐水口の掃除をする。
※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照

⑤ 止水栓は開いていますか？



➡ 止水栓を開く。

⑥ フィルター付きパッキンのごみ詰まりはないですか？

➡ フィルター付きパッキンの掃除をする。
※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。